



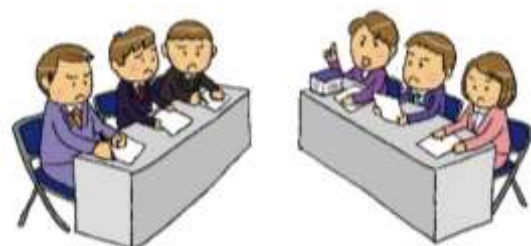
11月25日 東京都労働委員会

救済申立受理

JR東日本 が行う不当労働行為の実例

輸送サービス労組 東京地本は、労働条件等を向上させ、安全・安心な輸送サービスを提供するために、団体交渉を通じて「議事録締結」を行い「労働協約」まで高めることを目指しています。

しかし、団体交渉において、労使で確認したことが議事録確認の際に反映されないため「議事録締結 (=労働協約)」できない状況が続いています。

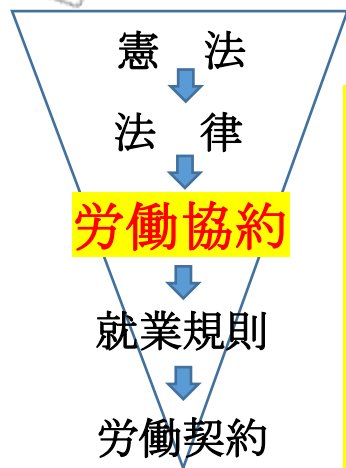


会社は「**関係法令に則り取り扱っている**」と回答するが、

- ✓ 合意した内容ではない
- ✓ 確認は組合が一方的に行っているもの
- ✓ 申と回答で解決する内容で、議論経過を載せる必要はない
- ✓ 対立点は載せない

などを主張し、繰り返し削除を続けています。

労働協約の効力は、就業規則よりも強い！



「労働協約」の重要性

団体交渉の労使合意に基づいて、議事録確認が行われ、労働協約が成立します。労働協約締結へ進むための重要な過程が今、蔑ろにされています。

団体交渉の合意事項を議事録確認に反映させないことは、団体交渉の形骸化であり、有名無実化につながるおそれがあります。

団体交渉は、私たちの労働条件向上は当然ですが、会社の発展を目的とした観点もあり、お互いの利益につながるのです！

計 **141** 件の団体交渉を開催するも、議事録締結は **10** 本のみ！

※第4回定期大会(2022年7月8日)時点

- ◆ 団体交渉で労使合意した確認事項を書面化の段階で拒否することは「**団体交渉拒否の不当労働行為**」です！
- ◆ 議事録に加え労働協約に残せないことは「**団体交渉権の侵害、支配介入の不当労働行為**」です！